

令和6年度 高等部 1年 (Ⅱ課程A) 数学科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	1年ⅡA		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。(高1段階)</p> <p>(思判表力)日常の事象を数学的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。(高1段階)</p> <p>(学・人)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)</p>
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	8	<p>(知及技)億、兆までの整数について知り、大きな数字の読み方や数字の位について理解することができる。(高1段階)</p> <p>(思判表力)数の構成や仕組みに着目し、大きな数を表したり、大小の比べたりすることができる。(高1段階)</p> <p>(学・人)数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気づき、そのことを生活に活用することができる。(高1段階)</p>	<p>(知・技)億、兆までの整数について知り、大きな数字の読み方や数字の位について理解している。</p> <p>(思・判・表)数の構成や仕組みに着目し、大きな数を表したり、大小の比べたりしようとしている。</p> <p>(主学)数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気づき、課題に取り組もうとしている。</p> <p>[評価資料] 授業プリント(振り返りシート)/提出物/活動の様子で評価する。</p>	<p>【A数と計算】 「整数の表し方」 「整数及び小数の表し方」</p>	<p>・億、兆までの数 ・10倍、100倍、1000倍、1/10の大きさの数及びその表し方</p>
	8	<p>(知及技)2位数の基本的な計算を理解し、それを基に大きな数の四則演算の計算ができる。(高1段階)</p> <p>(思判表力)数の構成に着目し、大きな数の四則演算や筆算の仕方を図や式などを用いて考え表現することができる。(高1段階)</p> <p>(学・人)数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気づき、そのことを生活に活用することができる。(高1段階)</p>	<p>(知・技)2位数の基本的な計算を理解し、それを基に大きな数の四則演算の計算をしようとしている。</p> <p>(思・判・表)数の構成に着目し、大きな数の四則演算や筆算の仕方を図や式などを用いて考え表現しようとしている。</p> <p>(主学)数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気づき、課題に取り組もうとしている。</p> <p>[評価資料] 授業プリント(振り返りシート)/提出物/活動の様子で評価する。</p>	<p>【A数と計算】 「整数の加法・減法」 「整数の乗法」 「整数の除法」</p>	<p>・足し算、引き算 ・かけ算 ・わり算 ・筆算の仕方 ・計算機の使い方</p>

	<p>(知及技)概数について理解し、概数を用いたり四捨五入や四則計算の結果の見積もりをすることができる。(高1段階) (思判表力)日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考え、説明することができる。(高1段階) (学・人)数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気づき、そのことを生活に活用することができる。(高1段階)</p>	<p>(知・技) 概数について理解し、概数を用いたり四捨五入や四則計算の結果の見積もりをしようとしている。 (思・判・表)日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考え、説明しようとしている。 (主学) 数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気づき、課題に取り組みようとしている。 [評価資料] 授業プリント(振り返りシート)/提出物/活動の様子で評価する。</p>	<p>【A数と計算】 「およその数の表し方」 「概数」</p>	<p>・4位数の整数を四捨五入して、概数を導き出す方法の学習 ・概数を基に、買い物に必要なだいたいの予算の見積もり</p>
	<p>(知及技)平行四辺形、ひし形、台形について知り、図形の形や大きさが決まる要素や図形の合同について理解することができる。また、三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解することができる。 (思判表力)図形を構成する要素及びそれらの位置関係や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見だし、説明することができる。 (学・人)図形に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気づき、そのことを生活に活用することができる。(高1段階)</p>	<p>(知及技)平行四辺形、ひし形、台形について知り、図形の形や大きさが決まる要素や図形の合同について理解している。また、三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解している。 (思・判・表)図形を構成する要素及びそれらの位置関係や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見だし、説明しようとしている。 (主学) 図形に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気づき、課題に取り組みようとしている。 [評価資料] 授業プリント(振り返りシート)/提出物/活動の様子で評価する。</p>	<p>【B図形】 「平面図形」</p>	<p>・三角形、四角形の性質、作図 ・平行四辺形、ひし形、台形の性質、作図 ・同じ図形 ・多角形の性質、作図</p>
<p>2 学期 9</p>	<p>(知及技)三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解することができる。(高1段階) (思判表力)図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見だし、説明することができる。(高1段階) (学・人)図形に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気づき、そのことを生活に活用することができる。(高1段階)</p>	<p>(知及技)三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解している。 (思判表力)図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見だし、説明しようとしている。 (主学) 図形に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気づき、課題に取り組みようとしている。 [評価資料] 授業プリント(振り返りシート)/提出物/活動の様子で評価する。</p>	<p>【B図形】 平面図形の面積</p>	<p>・三角形の面積 ・平行四辺形の面積 ・ひし形の面積 ・台形の面積</p>

	<p>(知及技)簡単な場合について、比例の関係があることを知ることができる。(高1段階)</p> <p>(思判表力)伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察することができる。(高1段階)</p> <p>(学・人)変化と関係に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。(高1段階)</p>	<p>(知・技)簡単な場合について、比例の関係があることを理解している。</p> <p>(思・判・表)伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察しようとしている。</p> <p>(主学)変化と関係に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、課題に取り組もうとしている。</p> <p>[評価資料] 授業プリント(振り返りシート)/提出物/活動の様子で評価する。</p>	<p>【C変化と関係】 「伴って変わる二つの数量」</p>	<p>・比例</p>
	<p>(知及技)小数や分数について理解し、小数及び分数同士の四則演算の計算をすることができる。(高1段階)</p> <p>(思判表力)数のまとまりに着目し、少数や分数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうかを考察することができる。(高1段階)</p> <p>(学・人)数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。(高1段階)</p>	<p>(知・技)小数や分数について理解し、小数及び分数同士の四則演算の計算をしようとしている。</p> <p>(思・判・表)数のまとまりに着目し、少数や分数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうかを考察している。</p> <p>(主学)数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気づき、課題に取り組もうとしている。</p> <p>[評価資料] 授業プリント(振り返りシート)/提出物/活動の様子で評価する。</p>	<p>【A数と計算】 「小数とその計算」 「分数とその計算」</p>	<p>・小数の表し方 ・小数の四則演算 ・分数の表し方 ・分数の四則演算</p>
3 学期	<p>(知及技)数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読みだりすることができる。(高1段階)</p> <p>(思判表力)目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察することができる。(高1段階)</p> <p>(学・人)データの活用に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。(高1段階)</p>	<p>(知・技)数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読みだりしようとしている。</p> <p>(思判表力)目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察しようとしている。</p> <p>(主学)データの活用に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、課題に取り組もうとしている。</p> <p>[評価資料] 授業プリント(振り返りシート)/提出物/活動の様子で評価する。</p>	<p>【Dデータの活用】 「データの収集と分析」</p>	<p>・表と棒グラフ ・折れ線グラフ ・円グラフ、帯グラフ</p>
	留意点 引継ぎ等			

令和6年度 高等部2年(Ⅱ課程A) 数学科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	2年ⅡA		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。(中2～高1段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。(中2～高1段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	(知及技)がい数の意味と表し方や四則との関係について理解し、それらを計算する技能を身につける。四捨五入をすることができ、(中2～高1段階) (思判表力)がい数を用いて目的に合った表現方法で表すことができる。4位数の数を十進位取り記数法で表すことができる。(中2～高1段階) (学・人)がい数の考え方を買い物などの日常生活に生かそうとすることができる。(高1段階)	(知・技)4位数の金額を受信位取り記数法で表すことができる。大きな数を正しく四捨五入することができる。 (思・判・表)どちらの数が大きいかわかり、不等号を使って表すことができる。買い物に必要な金額の大きな見積もりについて考えることができた。 (主学)四捨五入やがい数の便利さに気づき、日常生活で生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/振り返りシート/活動の様子で評価する。	【A数と計算】 「おおよその数」	①4位数の数を十進位取り記数法で表す。 ②4位数の整数を四捨五入し、がい数を導き出す方法を学習する。 ③がい数をもとに、買い物に必要なだいたいの予算の見積もりを立てる。
	9	(知及技)大きな数の加減計算は、2位数などの基本的な計算をもとにしてできていることを理解し、それらの計算をすることができる。計算機を使い、4桁以上の加法・減法の計算ができる。(高1段階) (思判表力)数の構成に着目し、大きい数の加減法の筆算の仕方について、図や式などを用いて考え表現することができる。(高1段階) (学・人)既習の加法・減法の筆算をもとに類推し、3桁以上の加法・減法の筆算の仕方を考えようとしている。(高1段階)	(知・技)計算機を使わずに3桁同士の加法及び減法の問題を取り組むことができる。加法の交換法則や、加法減法の相互関係を理解し、確かめようとしている。 (思・判・表)他の生徒の計算の方法を聞き、自分の計算の仕方を見直すことができた。自分の計算の方法を他の生徒へ発表することができた。 (主学)学習した内容を使って、売上金の問題を正しく作成しようとしている。 [評価資料] 授業プリント/振り返りシート/活動の様子で評価する。	【A数と計算】 「大きい数の筆算を考えよう」	①3桁+2桁の筆算方法について考える。 ②計算機を使って、加法・減法の問題を解く。 ③売上金をテーマにした練習問題を解く。 ④お店の売上金の問題を解く。作った問題を発表する。友達が作った問題を解く。
	6	(知及技)分数を用い、ものを半分や四等分に分けることができる。(中2段階) (思判表力)身近にあるものを分数を用いて表すことができる。(中2段階) (学・人)身近にある分数に関心をもち、自ら学習に取り組むことができる。(中2段階)	(知・技)元の大きさ、分けた大きさは全て等しいことを理解することができる。紙などを折って、2分の1や4分の1を作ることができる。 (思・判・表)半分にした大きさを2分の1といひ、1/2と書くことができる。四等分にした大きさを4分の1といひ、1/4と書くことができる。 (主学)学習したことを生かして身近なものを1/2、1/4を使って表すことができる。 [評価資料] 授業プリント/振り返りシート/活動の様子で評価する。	【A数と計算】 「分けた大きさを表そう」	①半分、四等分にした大きさの意味と書き方。 ②1/2、1/4の大きさの理解を深める。 ③身近なものの量を分数を用いて表記する。
2 学期	9	(知及技)単位図形の個数を元に、もの大きさや広さを数値化することができる。(中2段階) (思判表力)大きさや広さを測る方法を考え、どちらが大きい(広い)かを比較することができる。(中2段階) (学・人)身の回りのものを大きさや広さに注目して捉え、学んだことを生活に生かそうとする。(中2段階)	(知・技)大きさや広さを測るときに、1辺が1cm(1m、1km)の正方形の面積を用いると便利であることを理解することができる。単位図形を元に、もの大きさや広さを数値化しようとしている。 (思・判・表)大きさや広さを測る方法を考え、発表することができる。単位図形を元に、どちらが大きい(広い)かを判断することができる。 (主学)身近なものを、大きさや広さに注目して捉え、比較しようとしている。 [評価資料] 授業プリント/振り返りシート/活動の様子で評価する。	【B図形】 「大きさや広さを比べてみよう」	①机4個分と机6個分、教室と体育館、学校と中城村などの具体物や写真を見て、どちらが大きい(広い)かを考える。 ②2つの四角形(正方形と長方形)を見てどちらが大きいかを考える。 ③問題として提示された図や写真を見て、どの単位で大きさや広さを表すのが適切かを考える。 ④色々な大きさ(広さ)のものを見て、どの単位を使うのが適しているのかを考える。

期	9	(知及技)三角形の面積について理解し、その求め方を知る。平行四辺形の面積について理解し、その求め方を知る。(高1段階) (思判表力)長方形と平行四辺形の面積の公式が同じ理由を考えることができる。(高1段階) (学・人)図形の性質を生活や学習に活用することができる。(高1段階)	(知・技)三角形の面積は、長方形の半分であることが分かった。平行四辺形と長方形の面積は、同じであることが分かった。 (思・判・表)公式を使った面積の求め方を理解することができた。 (主学) グループの話し合いで自分の意見を発表することができた。 [評価資料] 授業プリント/振り返りシート/活動の様子で評価する。	(B図形) 「三角形・四角形」	①広さ(面積)の求め方を知る。 ②三角形・平行四辺形の面積の求め方を知る。 ③複雑な形の面積の求め方を知る。 ④面積と周りの長さの求め方を知る。
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2 学期	10	(知及技)2つの数量と別の2つの数量の関係が変わることを理解することができる。(中2段階) (思判表力)2つの数量の関係と割合の図式をもとに、ある数量と別の数量の関係の大小の変化に気づき、考察することができる。(中2段階) (学・人)身の回りのさまざまな割合に関心をもち、数量同士の差の大きさとそれらの割合についてそれぞれ考え、違いや特徴に気づくことができる。(中2段階)	(知・技)数量が割合かどちらに着目するかで、テーマに対する答えが変わることを理解することができる。 (思・判・表)着目した視点について明らかにしながら比較した割合をもとに自分の意見をもつことができたり、仲間と話し合い考えることができる。 (主学) 数量同士の差の大きさとそれらの割合に着目して、話し合いに参加しようとしている。 [評価資料] 授業プリント/振り返りシート/活動の様子で評価する。	(C変化と関係) 「割合を用いた比較」	①「学校のクラブ、どの班が入りやすい？」を考える。 ②「スーパーのチラシから「いつ買った方がいい？」を考える。
3 学期	9	(知及技)百分率を知り、数の百分率の求め方を知る。(高1段階) (思判表力)割引で表示されている数字を見て、どのくらい安くなるか見当をつけられる。(高1段階) (学・人)比や割合について、実生活の場面で使うことができる。(高1段階)	(知・技)百分率について理解することができる。数の百分率を求めることができる。 (思・判・表)全体が100でない場合の百分率について、図表を用いて考えることができる。割引の意味を理解して、どのくらい安くなるか見当をつけることができる。 (主学) バーゲンセールでの割引の表示を見て、お得な商品を選ぶことができる。 [評価資料] 授業プリント/振り返りシート/活動の様子で評価する。	(C変化と関係) 「割引・百分率」	①割引と百分率について知る。 ②百分率と小数・分数の関係について知る。 ③百分率の求め方について知る。 ④買い物への応用について知る。
	8	(知及技)データを棒グラフや折れ線グラフに変換することができる。(中2段階) (思判表力)データをグラフに変換し、グラフの内容や特徴を読み取ることができる。(中2段階) (学・人)多様なデータの活用方法を知り、適切なグラフに表そうとしている。(中2段階)	(知・技)棒グラフや折れ線グラフからデータを読み取ることができる。各グラフの意味を理解し、グラフの特徴を読み取ることができる。 (思・判・表)完成したグラフを比較し、グラフの違いについて気づくことができる。数字を自分で書き換えてみて、変化の量を気づくことができる。 (主学) グラフ作成の際に、横軸や縦軸を自分で見つけることができる。折れ線グラフにするテーマを自ら進んで調べることができる。 [評価資料] 授業プリント/振り返りシート/活動の様子で評価する。	(Dデータ処理) 「変化を読みとろう」	①表から棒グラフ、折れ線グラフに変換する。 ②棒グラフ、折れ線グラフの特徴を理解する。 ③折れ線グラフでグラフの変化を読みとる。
留意点 引継ぎ等					

令和6年度 高等部3年(Ⅱ課程A) 数学科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	3年ⅡA		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。(高1段階) (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。(高1段階) (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	(知及技)がい数の意味と表し方や四則との関係について理解し、それらを計算する技能を身につける。四捨五入をすることでがい数を出すことができる。(高1段階) (思判表力)がい数を用いて目的に合った表現方法で表すことができる。4位数の数を十進位取り記数法で表すことができる。(高1段階) (学・人)がい数の考え方を買い物などの日常生活に生かそうとすることができる。(高1段階)	(知・技)4位数の金額を受信位取り記数法で表すことができる。大きな数を正しく四捨五入することができる。 (思・判・表)どちらの数がかわいかわかり、不等号を使って表すことができる。買い物に必要な金額の大きさを見積もりについて考えることができた。 (主学) 四捨五入やがい数の便利さに気づき、日常生活で生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/振り返りシート/活動の様子で評価する。	【A数と計算】 「おおよその数」	①4位数の数を十進位取り記数法で表す。 ②4位数の整数を四捨五入し、がい数を導き出す方法を学習する。 ③がい数をもとに、買い物に必要なだいたいの予算の見積もりを立てる。
	9	(知及技)大きな数の加減計算は、2位数などの基本的な計算をもとにしてできていることを理解し、それらの計算をすることができる。計算機を使い、4桁以上の加法・減法の計算ができる。(高1段階) (思判表力)数の構成に着目し、大きい数の加減法の筆算の仕方について、図や式などを用いて考え表現することができる。(高1段階) (学・人)既習の加法・減法の筆算をもとに類推し、3桁以上の加法・減法の筆算の仕方を考えようとしている。(高1段階)	(知・技)計算機を使わずに3桁同士の加法及び減法の問題に取り組むことができる。加法の交換法則や、加法減法の相互関係を理解し、確かめようとしている。 (思・判・表)他の生徒の計算の方法を聞き、自分の計算の仕方を見直すことができた。自分の計算の方法を他の生徒へ発表することができた。 (主学) 学習した内容を使って、売上金の問題を正しく作成しようとしている。	【A数と計算】 「大きい数の筆算を考えよう」	①3桁+2桁の筆算方法について考える。 ②計算機を使って、加法・減法の問題を解く。 ③売上金をテーマにした練習問題を解く。 ④お店の売上金の問題を解く。作った問題を発表する。友達が作った問題を解く。
	6	(知及技)小数の仕組みを理解し、整数の間の数を小数で表す。(中2段階) (思判表力)既習の単位換算の知識を活用し、端数部分も小数を使い単位換算できる。(中2段階) (学・人)日常生活場面から小数で表された数を見つけることができる。(中2段階)	(知・技)1より小さい数を小数で表すことができる。小数の仕組みに気づき、小数の大小関係を答えることができる。 (思・判・表)小数の相対的な大きさを考え、単位変換に気づくことができる。小数知識を使い、地図や標識の内容を正しく読み取ることができ、買い物ができる。 (主学) 身の回りから小数を見つけることができる。 [評価資料] 授業プリント/振り返りシート/活動の様子で評価する。	【A数と計算】 「0と1の世界」	①1より小さい数の表し方 ②小数の仕組み 数の仕組みに着目し、小数の構成や位を考える。 ③小数の仕組み 数の仕組みに着目し、小数の大小関係を考える。 小数の仕組みに着目し、長さや重さの端数部分を小数で表す方法を考える。 ④まとめ 小数を使って、ちょうどいい買い物を。 小数の知識を使って、地図や標識の内容を正しく読み取る。

2 学期	9	(知及技)三角形の面積について理解し、その求め方を知る。平行四辺形の面積について理解し、その求め方を知る。(高1段階) (思判表力)長方形と平行四辺形の面積の公式が同じ理由を考えることができる。(高1段階) (学・人)図形の性質を生活や学習に活用することができる。(高1段階)	(知・技)三角形の面積は、長方形の半分であることが分かった。平行四辺形と長方形の面積は、同じであることが分かった。 (思・判・表)公式を使った面積の求め方を理解することができた。 (主学)グループの話し合いで自分の意見を発表することができた。	【B図形】 「三角形・四角形」	①広さ(面積)の求め方を知る。 ②三角形・平行四辺形の面積の求め方を知る。 ③複雑な形の面積の求め方を知る。 ④面積と周りの長さの求め方を知る。
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2 学期	9	(知及技)図形の真ん中の線で折ったとき、ぴったり重なる図形を線対称ということを知る。(高2段階) (思判表力)対象の軸の描き方を考える。(高2段階) (学・人)線対称の図形を生活や学習に活用することができる。(高2段階)	(知・技)線対称の図形がどのようなものであるか理解することができた。対称な図形には1本、2本あるいはそれ以上の対称の軸があることが分かった。 (思・判・表)対称の軸の書き方を考えることができた。線対称が日常目にする物にどのように使われているか発見することができた。 (主学)グループの話し合いで自分の意見を発表することができた。	【B図形】 「線対称」	①【線対称の図形】対称の軸の描き方を知る。 ②【点対称の図形】点対称の中心を見つける。 ③【反射】方眼紙を使って図形の反射を描く。 ④【回転】方眼紙を使って回転した図形を描く。 ⑤【平行移動】図形を平行移動させる方法を知る。
2 学期	10	(知及技)比や割合の意味を知る。(高2段階) (思判表力)地図の縮図で実際の距離を求めことや、料理のレシピから材料の量を計算することができる。(高2段階) (学・人)比や割合について、実生活の場面で使うことができる。(高2段階)	(知・技)割合を分数、小数、百分率で表すことができた。縮小と拡大について知り、計算することができた。 (思・判・表)大きさの比べ方について、自分の考えを述べることができた。比と割合の意味を考えて活用することができた。 (主学)縮小と拡大を利用して、日常生活に生かすことができた。	【C変化と関係】 「比・割合」	①大きさの比べ方について知る。 ②比と割合について知る。 ③比の表し方について知る。 ④縮小と拡大について知る。
3 学期	9	(知及技)百分率を知り、数の百分率の求め方を知る。(高1段階) (思判表力)割引で表示されている数字を見て、どのくらい安くなるか見当をつけられる。(高1段階) (学・人)比や割合について、実生活の場面で使うことができる。(高1段階)	(知・技)百分率について理解することができた。数の百分率を求めることができる。 (思・判・表)全体が100でない場合の百分率について、図表を用いて考えることができる。割引の意味を理解して、どのくらい安くなるか見当をつけることができる。 (主学)バーゲンセールの割引の表示を見て、お得な商品を選ぶことができる。	【C変化と関係】 「割引・百分率」	①割引と百分率について知る。 ②百分率と小数・分数の関係について知る。 ③百分率の求め方について知る。 ④買い物への応用について知る。
3 学期	8	(知及技)データを集めて、そのデータから何がわかるのか調べるのが統計であることを知る。(高2段階) (思判表力)自分のやり方でデータ処理をして、調査結果を発表することができる。(高2段階) (学・人)データを整理して分析する方法を知り、使えるようにする。(高2段階)	(知・技)統計とはどのようなものかを理解することができる。データを整理して、表にすることができる。 (思・判・表)データの特徴を読み取りやすい表の種類を考えることができる。ある基準に沿って、データを仕分けすることができる。 (主学)自分で興味のあるテーマについて、データを収集・整理・発表することができる。	【Dデータ処理】 「データの活用」	①データ処理の方法について知る。 ②質問票を使ったデータの収集について知る。 ③収集データに基づいた表・グラフの作成について知る。 ④データの分析結果を発表する。

留意点 引継ぎ等	
-------------	--

令和 6 年度 高等部 1 年 (Ⅱ課程B) 数学科 年間指導計画

単位数 / 配当時数	児童生徒	担当者	教科書 / 副教材
2 / 70	1 年ⅡB 1 名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。(高1段階) (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。(高1段階) (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技) 「いち、に、さん」と数えながら、3つ取ることができる。(小1段階) (思判表力) 皿の位置や果物の種類が変わっても1対1対応で配ることができる。(小1段階) (学・人) 数に関心をもって、自ら学習に取り組むことができる。(小1段階)	(知・技) 「いち、に、さん」と声を出しながら数えたり、具体物を3つ数えながらとろうとしている。 (思・判・表) 場所や物の種類が変わっても1対1対応で配ろうとしている。 (主学) 数に関心をもち、自ら学習に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	【B数と計算】 ボールを配ろう/数えよう	【対応させてものを配る】 ・3つのボールを数える。 ・3個のボールと容器を1対1で対応させて配る。 【形や色が変わっても対応させてものを配る】 ・容器に対して違うボール(3種類)を配る。 【位置が変わっても対応させてものを配る】 ・容器を教卓に広げて置き、具体物を配る。 ・容器を生徒個々の机に置き、具体物を配る。
	5	(知及技) 時計の文字盤の並びが分かる。短針が示す時間を理解し、○時と答えることができる。(小1段階) (思判表力) 時計の示す時間と1日の生活の流れを結びつけることができる。(小1段階) (学・人) 時計と生活との結びつきを理解し、学習や生活に活かそうとすることができる。(小1段階)	(知・技) 時計の文字盤の数を並べることができる。○時のときの短針の数字を指す(答える)ことができる。 (思・判・表) 時計の示す時間と1日の生活の流れを結びつけようとしている。 (主学) 時計と生活との結びつきを理解し、生活にいかそうとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	【C測定】 時計をよもう	時計の短針(時)の読み方 ・文字盤の数字のマッチング ・短針を動かし、○時の時間を示す。
2 学期	14	(知及技) ○、△、□の形と名称を合わせることができる。(小2段階) (思判表力) 写真やイラストで形の特徴に気づいて、○、△、□に分けることができる。(小2段階) (学・人) 日常の図形(食べ物や道路標識など)に注目し、形に興味をもつことができる。(小2段階)	(知・技) ○、△、□の形と名称を合わせようとしている。 (思・判・表) 形の特徴に気づき、○、△、□に分けようとしている。 (主学) 日常の図形に関心をもって学習しようとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	【B図形】 色々な図形を並べてみよう 色々な図形に触れてみよう	・○、△、□の型はめをする ・写真やイラストにある、○、△、□を探す
	14	(知及技) もの「長さ」に注目し、2つの量の違いや用語を理解することができる。(小2段階) (思判表力) ものの長さに応じて、「長い・短い」を判断することができる。 (小2段階) (学・人) 「長さ」の量の違いに興味をもち、自ら学習に取り組むことができる。(小2段階)	(知・技) 2つの量を比べたり、「長さ」を図ろうとしたりする。 (思・判・表) 長さの「長い・短い」について考えようとしている。 (主学) 「長さ」について関心をもち、学習に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	【C測定】 「長さ」を知ろう	【長いか短いかを判断する】 ケースに入った棒から長さの判断をして分けていく。 【長い・短いを選択する】 2本の棒で「長い(短い)方どっち?」の質問に対して応える (主学) 【1本を基準に判断する】 1本の棒を基準にして「長い(短い)方はどれ?」の質問に対し選択する。 【身の回りのものの長さを判断する】

3 学 期	17	<p>(知及技) 赤い玉と白い玉を対応させること によって、玉の同等や多少の確認 ができる。(小2段階)</p> <p>(思判表力) 赤い玉と白い玉の個数に着目して グラフに表し多少を読み取って勝 敗を判断することができる。(小 2段階)</p> <p>(学・人) 玉の数量やグラフの作成に興味を もって向かうことができる。(小 2段階)</p>	<p>(知・技) 玉の同等や多少の確認に取り組も うとしている。</p> <p>(思・判・表) グラフから数の多少を読み取ろう としている。数が多い方がどちら であるか確認しようとしている。</p> <p>(主学) グラフや活動に関心をもち、学習 に取り組もうとしている。</p> <p>[評価資料] 活動の様子で評価する。</p>	<p>[Dデータの活用] 勝敗を決めよう</p>	<p>【ゲームをして得点表をつくろう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色つきの玉と白い玉を箱に分け、同数が理解で きるようにする。 ・色つきの玉と白い玉を使い、多い少ないを学習 する。 ・玉入れの勝敗を決めよう。表を使用し、入った 玉の数を表で比べ多少、同等の判断をする。
留意点 引継ぎ等					

令和 6 年度 高等部 2 年 (Ⅱ課程B) 数学科 年間指導計画

単位数 / 配当時数	児童生徒	担当者	教科書 / 副教材
2 / 70	2年ⅡB 2名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。(高1段階) (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。(高1段階) (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技) 「いち、に、さん」と数えながら、3つ取ることができる。(小1段階) (思判表力) 皿の位置や果物の種類が変わっても1対1対応で配ることができる。(小1段階) (学・人) 数に関心をもって、自ら学習に取り組むことができる。(小1段階)	(知・技) 「いち、に、さん」と声を出しながら数えたり、具体物を3つ数えながらとろうとしている。 (思・判・表) 場所や物の種類が変わっても1対1対応で配ろうとしている。 (主学) 数に関心をもち、自ら学習に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	【B数と計算】 ボールを配ろう/数えよう	【対応させてものを配る】 ・3つのボールを数える。 ・3個のボールと容器を1対1で対応させて配る。 【形や色が変わっても対応させてものを配る】 ・容器に対して違うボール(3種類)を配る。 【位置が変わっても対応させてものを配る】 ・容器を教卓に広げて置き、具体物を配る。 ・容器を生徒個々の机に置き、具体物を配る。
	5	(知及技) 時計の文字盤の並びが分かる。短針が示す時間を理解し、○時と答えることができる。(小1段階) (思判表力) 時計の示す時間と1日の生活の流れを結びつけることができる。(小1段階) (学・人) 時計と生活との結びつきを理解し、学習や生活に活かそうとすることができる。(小1段階)	(知・技) 時計の文字盤の数を並べることができる。○時のときの短針の数字を指す(答える)ことができる。 (思・判・表) 時計の示す時間と1日の生活の流れを結びつけようとしている。 (主学) 時計と生活との結びつきを理解し、生活にいかそうとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	【C測定】 時計をよもう	時計の短針(時)の読み方 ・文字盤の数字のマッチング ・短針を動かし、○時の時間を示す。
2 学期	14	(知及技) ○、△、□の形と名称を合わせることができる。(小2段階) (思判表力) 写真やイラストで形の特徴に気づいて、○、△、□に分けることができる。(小2段階) (学・人) 日常の図形(食べ物や道路標識など)に注目し、形に興味をもつことができる。(小2段階)	(知・技) ○、△、□の形と名称を合わせようとしている。 (思・判・表) 形の特徴に気づき、○、△、□に分けようとしている。 (主学) 日常の図形に関心をもって学習しようとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	【B図形】 色々な図形を並べてみよう 色々な図形に触れてみよう	・○、△、□の型はめをする ・写真やイラストにある、○、△、□を探す
	14	(知及技) もの「長さ」に注目し、2つの量の違いや用語を理解することができる。(小2段階) (思判表力) ものの長さに応じて、「長い・短い」を判断することができる。 (小2段階) (学・人) 「長さ」の量の違いに興味をもち、自ら学習に取り組むことができる。(小2段階)	(知・技) 2つの量を比べたり、「長さ」を図ろうとしたりする。 (思・判・表) 長さの「長い・短い」について考えようとしている。 (主学) 「長さ」について関心をもち、学習に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	【C測定】 「長さ」を知ろう	【長いか短いかを判断する】 ケースに入った棒から長さの判断をして分けていく。 【長い・短いを選択する】 2本の棒で「長い(短い)方どっち?」の質問に対して応える 【1本を基準に判断する】 1本の棒を基準にして「長い(短い)方はどれ?」の質問に対し選択する。 【身の回りのものの長さを判断する】

3 学 期	17	<p>(知及技) 赤い玉と白い玉を対応させること によって、玉の同等や多少の確認 ができる。(小2段階)</p> <p>(思判表力) 赤い玉と白い玉の個数に着目して グラフに表し多少を読み取って勝 敗を判断することができる。(小 2段階)</p> <p>(学・人) 玉の数量やグラフの作成に興味を もって向かうことができる。(小 2段階)</p>	<p>(知・技) 玉の同等や多少の確認に取り組も うとしている。</p> <p>(思・判・表) グラフから数の多少を読み取ろう としている。数が多い方がどちら であるか確認しようとしている。</p> <p>(主学) グラフや活動に関心をもち、学習 に取り組もうとしている。</p> <p>[評価資料] 活動の様子で評価する。</p>	<p>[Dデータの活用] 勝敗を決めよう</p>	<p>【ゲームをして得点表をつくろう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色つきの玉と白い玉を箱に分け、同数が理解で きるようにする。 ・色つきの玉と白い玉を使い、多い少ないを学習 する。 ・玉入れの勝敗を決めよう。表を使用し、入った 玉の数を表で比べ多少、同等の判断をする。
留意点 引継ぎ等					

令和 6 年度 高等部 3 年 (Ⅱ課程B) 数学科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	3年ⅡB 3名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。(高1段階) (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。(高1段階) (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技) 「いち、に、さん」と数えながら、3つ取ることができる。(小1段階) (思判表力) 皿の位置や果物の種類が変わっても1対1対応で配ることができる。(小1段階) (学・人) 数に関心をもって、自ら学習に取り組むことができる。(小1段階)	(知・技) 「いち、に、さん」と声を出しながら数えたり、具体物を3つ数えながらとろうとしている。 (思・判・表) 場所や物の種類が変わっても1対1対応で配ろうとしている。 (主学) 数に関心をもち、自ら学習に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	【B数と計算】 ボールを配ろう/数えよう	【対応させてものを配る】 ・3つのボールを数える。 ・3個のボールと容器を1対1で対応させて配る。 【形や色が変わっても対応させてものを配る】 ・容器に対して違うボール(3種類)を配る。 【位置が変わっても対応させてものを配る】 ・容器を教卓に広げて置き、具体物を配る。 ・容器を生徒個々の机に置き、具体物を配る。
	5	(知及技) 時計の文字盤の並びが分かる。短針が示す時間を理解し、○時と答えることができる。(小1段階) (思判表力) 時計の示す時間と1日の生活の流れを結びつけることができる。(小1段階) (学・人) 時計と生活との結びつきを理解し、学習や生活に活かそうとすることができる。(小1段階)	(知・技) 時計の文字盤の数を並べることができる。○時のときの短針の数字を指す(答える)ことができる。 (思・判・表) 時計の示す時間と1日の生活の流れを結びつけようとしている。 (主学) 時計と生活との結びつきを理解し、生活にいかそうとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	【C測定】 時計をよもう	時計の短針(時)の読み方 ・文字盤の数字のマッチング ・短針を動かし、○時の時間を示す。
2 学期	14	(知及技) ○、△、□の形と名称を合わせることができる。(小2段階) (思判表力) 写真やイラストで形の特徴に気づいて、○、△、□に分けることができる。(小2段階) (学・人) 日常の図形(食べ物や道路標識など)に注目し、形に興味をもつことができる。(小2段階)	(知・技) ○、△、□の形と名称を合わせようとしている。 (思・判・表) 形の特徴に気づき、○、△、□に分けようとしている。 (主学) 日常の図形に関心をもって学習しようとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	【B図形】 色々な図形を並べてみよう 色々な図形に触れてみよう	・○、△、□の型はめをする ・写真やイラストにある、○、△、□を探す
	14	(知及技) もの「長さ」に注目し、2つの量の違いや用語を理解することができる。(小2段階) (思判表力) ものの長さに応じて、「長い・短い」を判断することができる。 (小2段階) (学・人) 「長さ」の量の違いに興味をもち、自ら学習に取り組むことができる。(小2段階)	(知・技) 2つの量を比べたり、「長さ」を図ろうとしたりする。 (思・判・表) 長さの「長い・短い」について考えようとしている。 (主学) 「長さ」について関心をもち、学習に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	【C測定】 「長さ」を知ろう	【長いか短いかを判断する】 ケースに入った棒から長さの判断をして分けていく。 【長い・短いを選択する】 2本の棒で「長い(短い)方どっち?」の質問に対して応える 【1本を基準に判断する】 1本の棒を基準にして「長い(短い)方はどれ?」の質問に対し選択する。 【身の回りのものの長さを判断する】

3 学 期	17	<p>(知及技) 赤い玉と白い玉を対応させること によって、玉の同等や多少の確認 ができる。(小2段階)</p> <p>(思判表力) 赤い玉と白い玉の個数に着目して グラフに表し多少を読み取って勝 敗を判断することができる。(小 2段階)</p> <p>(学・人) 玉の数量やグラフの作成に興味を もって向かうことができる。(小 2段階)</p>	<p>(知・技) 玉の同等や多少の確認に取り組も うとしている。</p> <p>(思・判・表) グラフから数の多少を読み取ろう としている。数が多い方がどちら であるか確認しようとしている。</p> <p>(主学) グラフや活動に関心をもち、学習 に取り組もうとしている。</p> <p>[評価資料] 活動の様子で評価する。</p>	<p>[Dデータの活用] 勝敗を決めよう</p>	<p>【ゲームをして得点表をつくろう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色つきの玉と白い玉を箱に分け、同数が理解で きるようにする。 ・色つきの玉と白い玉を使い、多い少ないを学習 する。 ・玉入れの勝敗を決めよう。表を使用し、入った 玉の数を表で比べ多少、同等の判断をする。
留意点 引継ぎ等					